

令和3年度 市民ひとり一句一首運動入賞作品 (一般の部)

	一般入選作品 <俳句の部> 選者 笹瀬 節子先生	
特選 天	病室の全てが離島鳥渡る	掛井 広通
地	天道虫生命線を越えて行く	鈴木 久代
人	白雲は平和の証終戦日	山本 秀子
優秀賞	決断は医師の一言炎暑の日	三倉 小季
優秀賞	限界に挑む選手や雲の峰	宮本 榮子
優秀賞	帰省して柱の傷の溥くあり	植田 しづ子
優秀賞	炎昼や仁王のかひな血道浮く	堀江 康士
佳作	闇の中命の鼓動虫時雨	中田 美代子
佳作	あかりなき祭り提灯吊しけり	安西 ときわ
佳作	置き去りの上靴一つ夏休み	野村 久
佳作	折り鶴の机上の二羽や原爆忌	清水 やゑ
佳作	第二子の誕生近し合歡の花	竹原 美穂子
佳作	考妣を訪ふ人のあり夏座敷	永田 乃子
佳作	球児らの心を急かす雨後の空	鈴木 織江
佳作	シヨパン作「あまだれ」のやふ半夏雨	大須賀 知世枝
	一般入選作品 <川柳の部> 選者 望月 弘先生	
特選	伸び伸びと騒ぐ愉快的な花見酒	川島 里子
優秀賞	雨騒ぎ廳てやんちやな虹が立ち	大場 宏周
優秀賞	ひとり者あの手この手で貼り薬	青木 友子
優秀賞	名案も迷案も出る酒の席	田代 益生
佳作	天を衝く子らの歓声宇宙まで	二村 園子
佳作	空騒ぐ日本の夏が変わりゆく	伊藤 真寿美
佳作	ひと事が過ぎて和の中騒ぐ風	久保 善磨
佳作	大騒ぎ子供に返るクラス会	大須賀 悦子
佳作	強敵に向かって行こう騒ぐ胸	鈴木 とき江
	一般入選作品 <短歌の部> 選者 村松 幹子先生	
特選	コロナ禍の声ひとつ無き夏の庭芙蓉一輪まっすぐに咲く	岡本 薫
優秀賞	長茄子ダンベルのごと両の手に貰って帰る五輪の夏日	杉本 昭代
優秀賞	スーパーを買い物メモ持ちさまよえる夫が浮かびぬ我臥しながら	平野 豊美
優秀賞	朽ちてゐる花のあはひに紫陽花の咲き遅れたる藍のかがやき	鈴木 和枝
佳作	指先が水面に触れて目が覚めた夢の余韻の水の冷たき	倉嶋 フジ子
佳作	まだ居ると抱きつく孫の小さき手のぬくもり嬉し今のひととき	大橋 文恵
佳作	無事終える精霊送り雨の中父母の笑顔が見える気がして	山本 秀子
佳作	九十二の老爺の「高砂」朗朗とサロンの隅まで響きわたれり	酒井 敬子
佳作	友が訃によもやまさかのゆれ止まず再々つまづく暁の縁にさえ	大橋 あさ子